

# 支える人の学びの場

医療および教育専門職のための

## こころ塾 2018

コミュニケーションと身体性：先端の知と実践をつなぐ

2018.10.6 (土)、10.20 (土)、11.10 (土)

各日とも 10:30～17:10 まで (受付開始 10:00～)

京都大学 稲盛財団記念館3階 大会議室

現代の社会には、人を支えることを仕事としている人たちがたくさんいます。中でも、教育や医療の現場で働く人たちは、子どもやお年寄り、病気の人や身体の不自由な人たちが安心して暮らせる社会の、一番の担い手でもあります。そして、支える人たち自身も元気で健やかに毎日を過ごせることが、私たちのめざす日本社会の姿ではないかと考えます。京都大学こころの未来研究センターでは、こうした考えのもとで「支える人たちが元気になる学びの場」を作ることを発想し、2013年から「こころ塾」を開講しています。【医療および教育専門職のためのこころ塾 2018】は、3日間コースで実施します。多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

定員：100名 (申込による先着順) ※定員になり次第、締め切らせて頂きます。

参加資格：◇学校教員および教育関係の仕事に就いている方  
◇作業療法士、理学療法士、臨床心理士、言語聴覚士の実務経験が3年以上の方  
◇3日間全日参加できる方

情報交換会費：1,000円 × 3日 (初日に集めます)

主催：京都大学こころの未来研究センター

共催：京都大学大学院医学研究科 脳機能リハビリテーション学分野 発達障害系研究室



プログラム

10:00~	受付開始
10:30~11:50	講義① 乾敏郎 (追手門学院大学心理学部・教授/京都大学こころの未来研究センター・特任教授)
11:50~12:50	昼食
12:50~14:10	講義② ゲスト講師
14:10~14:20	休憩
14:20~15:20	事例検討
15:20~15:30	休憩
15:30~16:20	グループディスカッション
16:20~17:10	講師との Q&A

10月6日(土)

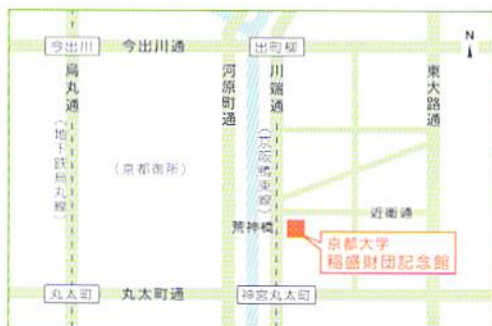
- 『コミュニケーションと身体性1:コミュニケーションを支える神経基盤』  
乾敏郎 (追手門学院大学心理学部・教授/京都大学こころの未来研究センター・特任教授 認知科学、認知神経科学)
- 『前思春期、思春期臨床にみる身体とコミュニケーション』  
岩宮恵子 (島根大学人間科学部・教授 臨床心理学)
- 事例検討 加藤寿宏 (京都大学大学院医学研究科・准教授・作業療法士)

10月20日(土)

- 『コミュニケーションと身体性2:非言語コミュニケーションの役割とその神経機構』  
乾敏郎 (追手門学院大学心理学部・教授/京都大学こころの未来研究センター・特任教授 認知科学、認知神経科学)
- 『社会性という観点から心の病気と健康を理解する』  
村井俊哉 (京都大学大学院医学研究科・教授 精神医学)
- 事例検討 嶋谷和之 (大阪市更生療育センター・作業療法士)

11月10日(土)

- 『コミュニケーションと身体性3:言語コミュニケーションの基礎』  
乾敏郎 (追手門学院大学心理学部・教授/京都大学こころの未来研究センター・特任教授 認知科学、認知神経科学)
- 『自己制御の発達とその支援』  
森口佑介 (京都大学大学院教育学研究科・准教授 発達心理学)
- 事例検討 小松則登 (愛知県心身障害者コロニー中央病院・作業療法士)



京都大学 稲盛財団記念館3階 大会議室  
(京都市左京区吉田下阿達町46 [川端近衛南東角])  
<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/jp/about/access.html>

申し込み方法

E-mail でお申し込みください。件名に「こころ塾 2018 申込」と明記し、必要事項を記入のうえ、お送りください。

必要事項

- ①氏名(ふりがな)
- ②所属先
- ③職種
- ④経年数
- ⑤返信用メールアドレス
- ⑥受講動機・受講のきっかけ
- ⑦こころ塾で学びたいこと・講師への質問など

※⑥⑦は簡単にご記入いただければ結構です。

※受信後、こちらから受付のメールをお送りいたしますので、下記アドレスからメールが受け取れるよう受信設定をお願いいたします。

連絡先/申込先

京都大学こころの未来研究センター  
リエゾンオフィス(平日9時~16時)

E-mail: [kokoro-m@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:kokoro-m@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

